



# 新潟大学

## 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン 平成25年度活動・実績報告

# 新潟大学 がんプロ H25年度 事業計画

- ① E-learningにおいてはH24年度に収録したものをを用いた講義を実施することにより、病院に勤務している社会人大学院生の教育の充実を図り、実質的な大学院教育を行う。
- ② 毎週実施されるがんサージカルボードに出席・発表・討論することを通して、総合的な知識と技能をもつ医療人の養成を図る。
- ③ 放射線腫瘍医・博士課程および医学物理士・博士前期課程を継続し、放射線治療に関わる人材の育成を行う。
- ④ 腫瘍内科医・博士課程、緩和医療医・博士課程、腫瘍外科医・博士課程を開講し、がん医療人の養成を開始する。
- ⑤ 医歯学総合病院で研修する医師に対して、がんプロの説明会を開催し、がんプロの概要を周知すると共に、コース選択を促す。
- ⑥ 他施設における医学物理士臨床研修の調査を行い、H27年度開講する医学物理士臨床研修（レジデント）コースの資料とする。

# 新潟大学 がんプロ H25年度 事業計画

- ⑦ 新潟県内がん診療連携拠点病院協議会においてがんプロの概要を周知することにより、がん診療拠点病院の研修医へのコース選択を働きかけると共に、地域における人材育成について協議する。
- ⑧ 連携大学と共催で医学生・前期研修医のための放射線治療セミナー合宿を開催し、放射線治療への理解を深めると共に、本取組への参加を促す。
- ⑨ 連携大学と共催で 医学生・前期研修医のためのがん薬物療法セミナー合宿を開催し、薬物治療への理解を深めると共に、本取組への参加を促す。
- ⑩ がん薬物療法・がん緩和ケア・放射線治療・医学物理・腫瘍外科等の生涯教育セミナーを開催し、医療人の生涯教育を実施する。
- ⑪ 市民公開講座を実施し、市民に正しいがんの知識と情報を提供する。

# 大学院生入学

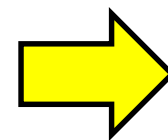
コ ー ス 名	修業年限	H25年度入学実績	H26年度～募集人員
がん薬物療法医養成コース(がん教育改革)	4年	—	2名
放射線腫瘍医養成コース	4年	1名	2名
がん薬物療法医養成コース(地域腫瘍内科医)	4年	1名	4名
がん専門医養成コース(地域腫瘍外科医)	4年	2名	2名
がん緩和医療医養成コース(地域緩和医療医)	4年	1名	2名
博士前期課程・医学物理士養成コース	2年	2名	2名
博士後期課程・医学物理コース	3年	— (H26年度開講)	1名
がん薬物療法医養成コース(インテンシブ)	6ヶ月	—	3年間で6名
医学物理士養成・臨床研修コース(レジデントコース) (インテンシブ)	2年	— (H27年度開講)	2年間で4名

# 大学院教育

- 放射線腫瘍医養成コース → 1名入学
- がん薬物療法医養成コース(地域腫瘍内科医) → 1名入学
- がん専門医養成コース(地域腫瘍外科医) → 2名入学
- がん緩和医療医養成コース(地域緩和医療医) → 1名入学
- 博士前期課程・医学物理士養成コース → 2名入学

## H25年度認定資格取得状況

- 放射線治療専門医(日本放射線医学会)
- 緩和医療専門医(日本臨床腫瘍学会)等



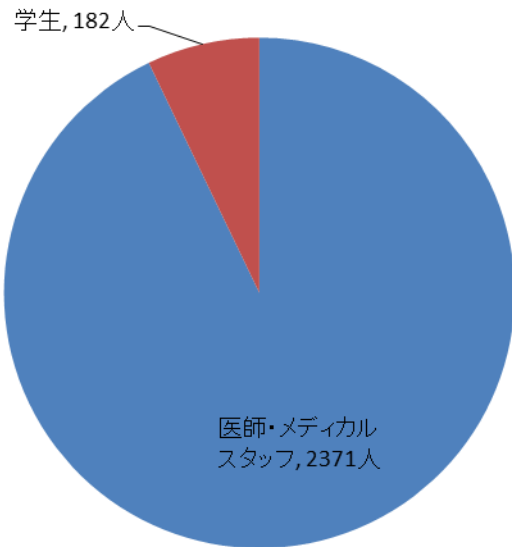
4名取得

ISTU・e-learningクラウドの継続的な受講

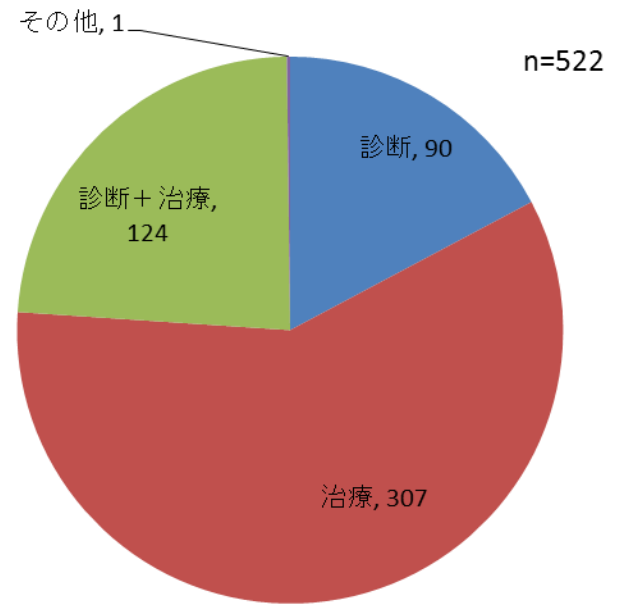
# がんサーボード

(H25.1～H26.1実施データ)

がんサーボード出席人数  
(毎週水曜日実施)



がんサーボード検討項目



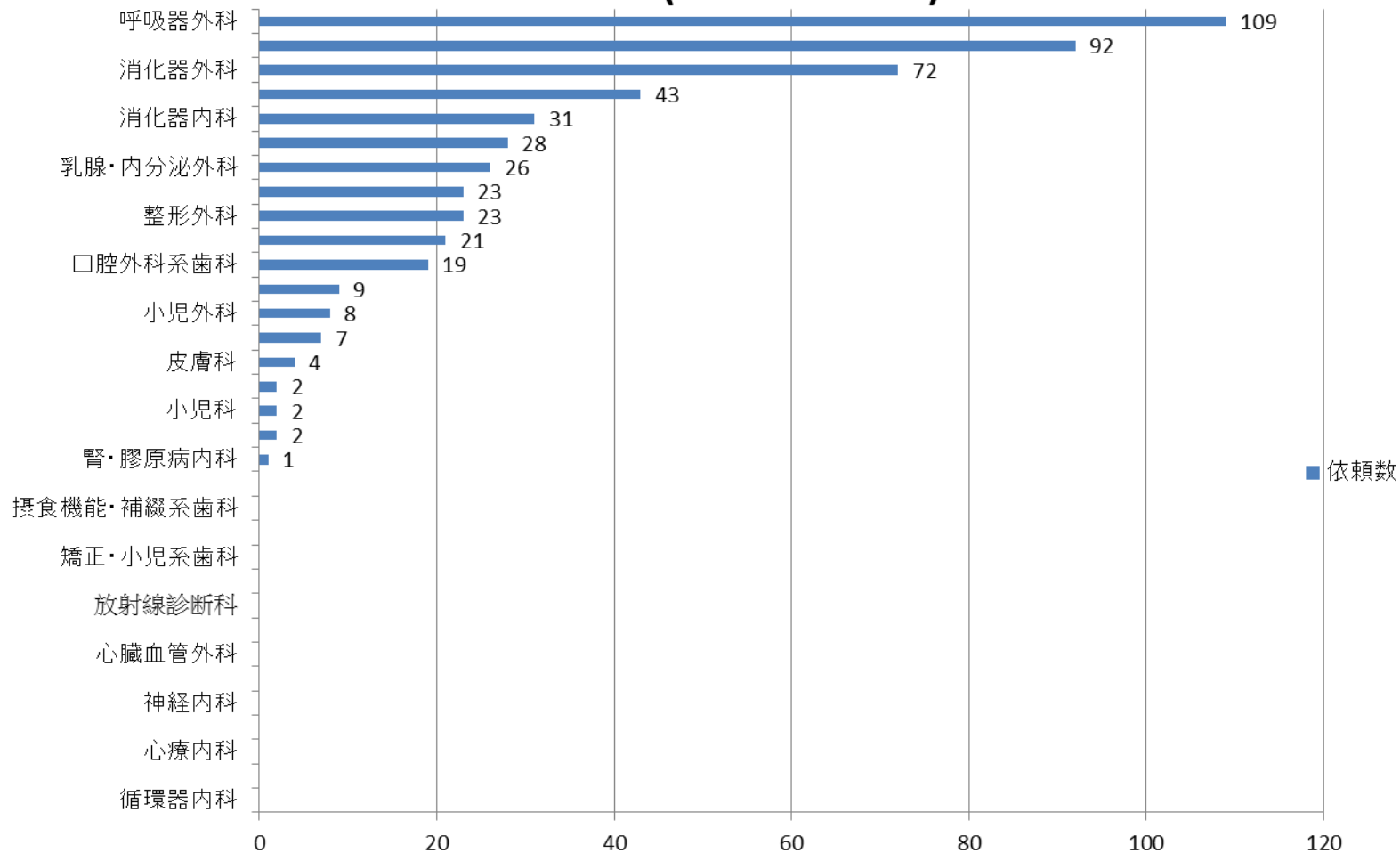
平均依頼数 9.8件

# がんボード

(H25.1~H26.1 実施データ)

## がんボード検討依頼数 (H25.1~H26.1)

n=522



# 新潟県内がん診療拠点病院協議会

●H26年1月30日

新潟県がん診療拠点病院協議会教育部会において、がんプロの概要及びがん医療人養成に向けて、がん診療連携病院との協力体制について意見交換した。



# 国内外の研修

- 国内研修、施設見学
  - 学会参加支援(臨床腫瘍学会など)
  - 放射線医学総合研究所見学
- 海外研修
  - バージニア州立大学研修



# がんプロ開催セミナー（H25年度）

開催日	演 題 ・ 講 師	受講人数
7/3	第1回 がんプロセミナー「遺伝性のがんを見逃さないために」 (札幌医科大学 櫻井晃洋)	26名
9/6	第2回 がんプロセミナー「乳がん治療の過去・現在・未来」 (東京医科大学八王子医療センター 林 光弘)	47名
10/25	第3回がんプロセミナー「呼吸器外科におけるロボット手術の現状と将来展望」 (鳥取大学 中村廣繁)	55名
1/24	第4回がんプロセミナー「悪性腫瘍(神経膠腫、胚細胞腫)に対する当院での集学的治療方針」 (東京女子医科大学 前林勝也)	30名
2/1	平成25年度 医学物理セミナー「トップランナーに聞く！ 理工系分野から医学物理士への道」 「臨床を目指した研究開発 ー北海道大学での取り組みー」 (北海道大学大学院 石川正純) 「北海道大学における放射線治療と医学物理士」 (北海道大学病院 鈴木隆介)	31名
2/11	東北がんプロ 第2回市民公開講座「がんの学舎 -まなびや-」 「小児がん治療の歴史といのち」 (聖路加国際病院小児総合医療センター 細谷亮太) 「小児固形悪性腫瘍の新潟県における治療の歴史と今後の課題」 (新潟大学医歯学総合病院 窪田正幸) 「がん・白血病を持つこどもの診断・治療・生活管理」 (新潟大学医歯学総合病院 今井千速)	72名

# がんプロ開催セミナー(H25年度)

開催日	演題・講師	受講人数
3/1	東北がんプロ4大学合同学生セミナー (教育講演:新潟大学医歯学総合研究科 味岡洋一)	42名
3/7	第6回 がんプロセミナー 緩和医療学「オピオイド:古くて新しい薬」 (千葉大学医学部附属病院 田口奈津子)	47名

東北がんプロフェッショナル養成推進プラン **参加費無料**

## 4大学合同学生セミナー

東北大学 山形大学 福島県立医科大学 新潟大学

平成26年  
**3月1日(土)**  
 13:00~15:35

ナサンホール  
 コンファレンスセンター一階講義(東館5階)

東北がんプロフェッショナル養成推進プラン推進の大学学生および関係のある学生、研修生、医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師、臨床工学技師

**プログラム**

13:00 教育講演「大腸がんの病理」  
 講師 味岡 洋一

14:00 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン研究進捗状況と成果発表

申し込み方法  
 FAX:メールにてお申し込みください。お申し込みは3月1日(土)12:00までです。

主催 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン  
 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン推進委員会  
 FAX:025-227-2222 E-mail:kanp@kanp.jp  
 TEL:025-227-2222 E-mail:GATE1 IP: http://www.kanp.jp/kanp/



東北がんプロフェッショナル養成推進プラン H25年度 第6回がんプロセミナー **大学院特別講義**  
 緩和医療学

## 「オピオイド:古くて新しい薬」

—知っておくべき新しいオピオイドの特徴や臨床応用、古くあるオピオイドの様々な他の作用などオピオイド薬学をご紹介します—

**講師: 田口 奈津子 先生**  
 (千葉大学医学部附属病院 麻酔・疼痛・緩和医療科准教授)

—1900年 世界初の特効薬(オピ)から「がん治療の中心薬(オピ)」の地位を占めるまでに、高濃度薬法の開発を経て、現代に及らぬオピオイド・薬物の進化があったが、がん高発症率におけるオピオイドの薬物副作用は、おそろしくこれらも変わりはないであろう。新しい薬物の開発方法論の中で、いかにオピオイドの副作用を減らすか、いかに薬物の効果を高めるかが重要になってくるであろう。今後はオピオイドの副作用を減らすための薬物療法(オピオイド・サポーター)によるオピオイド薬物の効果が期待される。しかしこれらこの薬物はこれまでオピオイドの使用法と若干異なるものはないだろうか。オピオイド薬物の臨床応用にはオピオイドの副作用を減らすための、これまでとは異なる薬物の開発が必要となるであろう。オピオイド薬物の臨床応用にはオピオイドの副作用を減らすための、これまでとは異なる薬物の開発が必要となるであろう。オピオイド薬物の臨床応用にはオピオイドの副作用を減らすための、これまでとは異なる薬物の開発が必要となるであろう。オピオイド薬物の臨床応用にはオピオイドの副作用を減らすための、これまでとは異なる薬物の開発が必要となるであろう。

**日時:平成26年 3月 7日(金曜) 18:00 ~ 19:00**  
**場所:新潟大学医学部 東講義棟 2階 第2講義室**  
**対象:大学院生、すべての医療従事者**

※ 申し込み不要・自由参加です。ご興味のある方はどうぞ、ご参加ください。  
 主催:東北がんプロフェッショナル養成推進プラン 共催:新潟大学医歯学総合研究科 麻酔センター  
 問い合わせ:新潟大学がんセンター事務局 TEL:025-227-2880



がんについて  
みんなで語り、  
学ぼう!



# がんの学舎

日時 平成26年  
**2月11日** 火祝  
14:00~16:30(開場13:30)

参加費  
無料

場所 朱鷺メッセ  
新潟コンベンションセンター3階  
中会議室(301)



【会場の挨拶】  
**西條 康夫**  
新潟大学医学部総合病院  
副院長  
東北がんプロフェッショナル養成推進プラン  
実行委員副コーディネーター  
休職 (10分)

【基調講演】  
**「小児がん治療の歴史といのち」**  
細谷亮太氏 (新潟県立がんセンター長) (40分)

講演者プロフィール  
細谷亮太氏 新潟県立がんセンター長  
1961年、新潟県新潟市に生まれる。1989年、新潟大学医学部小児科を卒業。1990年、新潟県立がんセンターに入社。1991年、同センター小児科に勤務。1995年、同センター小児科長に就任。2000年、同センター副院長に就任。2005年、同センター院長に就任。2010年、同センター長に就任。2015年、同センター長に就任。2019年、同センター長に就任。

1 **「小児凶形悪性腫瘍の新潟県における治療の歴史と今後の課題」**  
新潟大学医学部総合病院 小児外科 斎田正幸 先生 / (約30分)

2 **「がん・白血病を持つ子どもの診断・治療・生活管理」**  
新潟大学医学部総合病院 小児科 今井千恵 先生 / (約30分)  
司会/ 滝見麻子氏(新潟県立がんセンター新潟病院:小児科部長)

主催 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン  
(東北大学・山形大学・福島県立医科大学・  
新潟大学共同プロジェクト)

共催 新潟大学  
医学部総合病院  
副産センター



〈お問合せ先〉

新潟大学がんプロ事務局 TEL.025-227-0389 FAX.025-368-9005  
〒951-8510 新潟市中区北町1丁目7-77  
E-mail: n-ganpro@med.niigata-u.ac.jp

▶会場の定員に限りがありますので、電話・FAX・電子メール等で事前にお申し込みをお願いします。



# トップランナーに聞く 理工系分野から 医学物理士への道

参加費  
無料

日時:平成26年 2月 1日(土) 15:00~17:30  
場所:新潟大学医学部 東講義棟 3階  
第3講義室(定員100名)  
対象:学生、医学物理士教育関係者、医学物理士  
医師(研修医含む)、放射線技師、看護師等

## - プログラム -

開会挨拶 [15:00] 青山 英史 新潟大学大学院医歯学総合研究科・教授

講演1 [15:05] 「臨床を目指した研究開発 -北海道大学での取り組み-」  
石川 正純 先生 北海道大学大学院医学研究科・教授

講演2 [16:05] 「北海道大学における放射線治療と医学物理士」  
鈴木 隆介 先生 北海道大学病院・助教

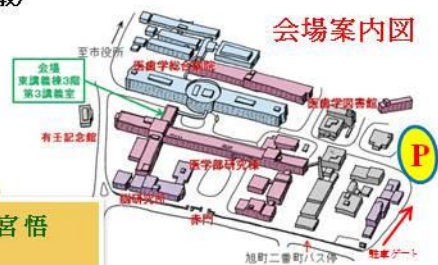
ディスカッション [17:05]

閉会挨拶 [17:25] 和田 真一 新潟大学大学院保健学研究科・教授

司会:宇都宮 悟(新潟大学大学院医歯学総合研究科・特任助教)

※ 参加申込み不要

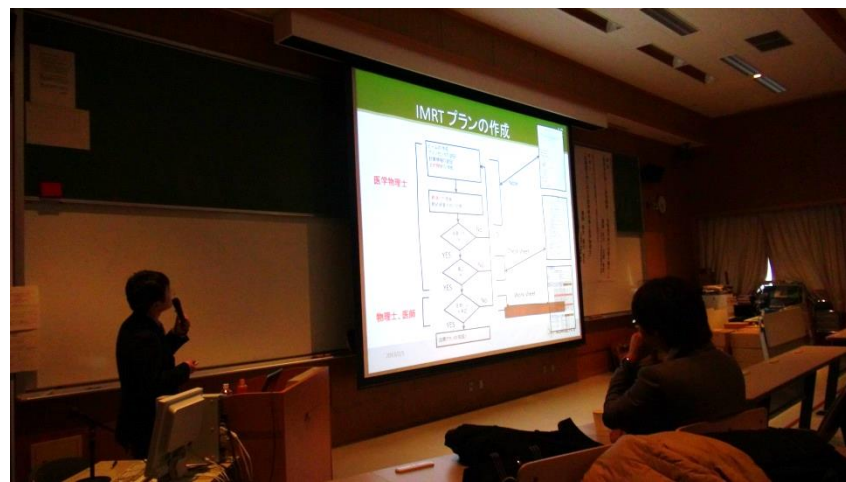
◎無料駐車場(地図参照)をご用意しておりますが、台数に限りがございます。できるだけ公共交通機関でお越し願います。地図以外の駐車場は料金が発生いたします。ご了承くださいませ。



◆お問合せ先◆医歯学総合研究科:宇都宮 悟  
[Email sutsumo@med.niigata-u.ac.jp]

主催:東北がんプロフェッショナル養成推進プラン 共催:新潟大学医歯学総合病院腫瘍センター

参加者:31名(大学院生,放射線技師,  
学部学生,新潟大学医院,他)



# 医学物理レジデントコース設置準備

- IAEA-TCS 37 研修項目と達成度評価シート和訳。
- 医学物理士増員(病院特任助教)平成26年4月赴任
- 医学物理レジデントコース設置に向けて、国内唯一のレジデントコース機構認定施設:筑波大学を訪問し、情報収集を実施。
- 2014年3月6日(木) 13:30~15:30
- 筑波大学附属病院
- 筑波大学

(榮武二教授, 磯辺准教授, 神澤教員)

(林専門員:筑波大学附属病院総務部総務課)

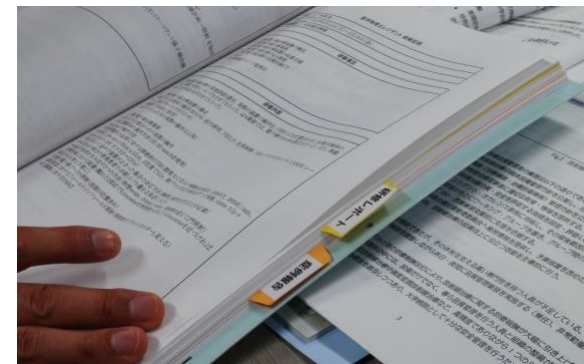
新潟大学

(青山教授, 和田教授, 宇都宮特任助教)

(長橋係長:医歯学総合病院総務人事課企画係)

(藤田係員:医歯学系総務課会計係)

(平瀬係員:医歯学系総務課学系企画係)



# まとめ

- H25年度の事業計画に沿って、ほぼ予定通り、実施した。
- H25年度は7名の大学院生が入学した。
- 臓器横断的がん診療演習を目的としたキャンサーボードを週一回通年で開催した。